

# システムダイナミクス

## 第5回 熱系・流体系のモデリングとアナロジー

### 本日の授業内容

1. 熱系のモデリング
2. 流体系のモデリング
3. アナロジー

2009/11/11

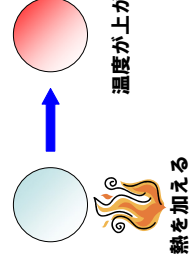
第5回 熱系・流体系のモデリングとアナロジー

2

### 熱とは？

熱はエネルギーの1形態。

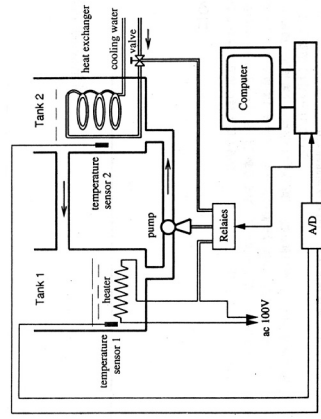
熱と温度は異なる！



2009/11/11

第5回 熱系・流体系のモデリングとアナロジー

4



$$C_1 \frac{dT_1(t)}{dt} = q_1(t) - c_w q_0(T_1(t) - T_2(t)) - k_c T_1(t)$$

$$C_2 \frac{dT_2(t)}{dt} = -q_2(t) + c_w q_0(T_1(t) - T_2(t)) - k_c T_2(t)$$

2009/11/11

第5回 熱系・流体系のモデリングとアナロジー

3

## 熱量の単位

常圧で 1g の水を 1K 上げるのに  
必要な熱量 ( エネルギー ) を 1cal と決める。

$$1 \text{ [cal]} = 4.186 \text{ [J]}$$

## 温度の単位

絶対温度 ( 熱力学温度 ) を使う。

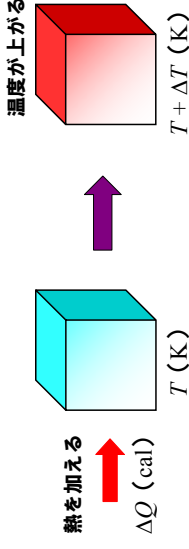
絶対温度  $T$  (K) とセルシウス温度  $\theta$  (°C)  
の関係:  $T = \theta + 273.15$

2009/11/11

第 5 回 熱系・流体系のモデリングとアナロジー

5

## 熱容量と比熱



$$\text{熱容量 (cal/K)} = \frac{\text{加えた熱量 / 上がった温度}}{C = \Delta Q / \Delta T}$$

熱容量 (cal/K) = 比熱 (cal/K/g) × 物質の質量 (g)  
水の比熱は約 1 cal/K/g

2009/11/11

第 5 回 熱系・流体系のモデリングとアナロジー

6

## 熱平衡方程式

$$C = \frac{\Delta Q}{\Delta T}$$

$$C \cdot \Delta T = \Delta Q$$

熱容量 × 温度変化 = 加えた熱量

$$\Delta Q = q_i \cdot \Delta t \quad q_i: \text{単位時間あたり加える熱量 (cal/min)}$$

$$\Delta t: \text{熱を加えた時間 (min)}$$

$$C \cdot \Delta T = q_i \cdot \Delta t$$

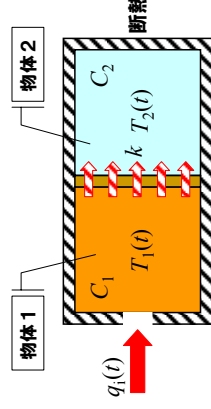
$$C \cdot \frac{\Delta T}{\Delta t} = q_i \quad \lim_{\Delta t \rightarrow 0} \frac{\Delta T}{\Delta t} = \frac{dT}{dt}$$

出ていく熱もある場合

$$C \cdot \frac{dT}{dt} = q_i - q_o \quad (\text{熱系のダイナミクス})$$

熱平衡方程式

(熱系のダイナミクス)



$$C_1 \frac{dT_1(t)}{dt} =$$

$$C_2 \frac{dT_2(t)}{dt} =$$

物体 1

加わる熱量:

$$q_i(t)$$

出ていく熱量:

物体 2

加わる熱量:

2009/11/11

第 5 回 熱系・流体系のモデリングとアナロジー

7

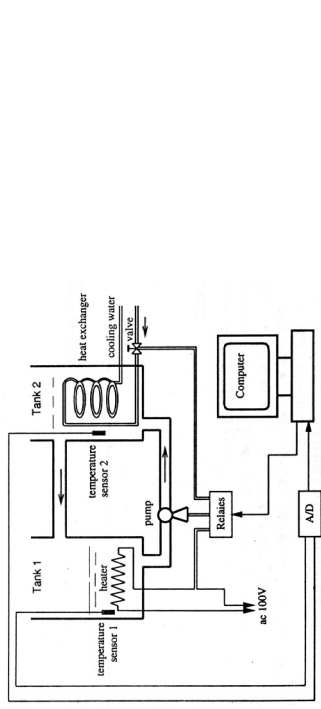
2009/11/11

第 5 回 熱系・流体系のモデリングとアナロジー

8

# 本日の授業内容

1. 熱系のモデリング
2. 流体系のモデリング
3. アナロジ-

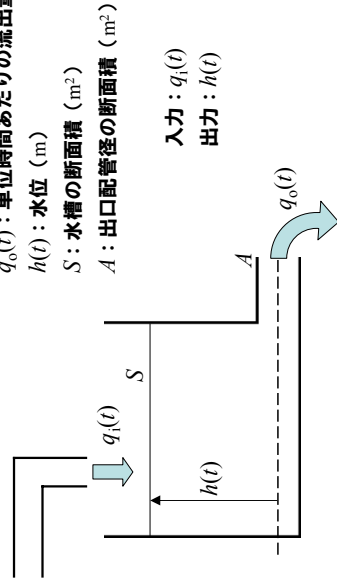


$$C_1 \frac{dT_1(t)}{dt} = q_1(t) - c_v q_0(T_1(t) - T_2(t)) - k_1 T_1(t)$$

$$C_2 \frac{dT_2(t)}{dt} = -q_2(t) + c_v q_0(T_1(t) - T_2(t)) - k_2 T_2(t)$$

# タンクシステム (流体系)

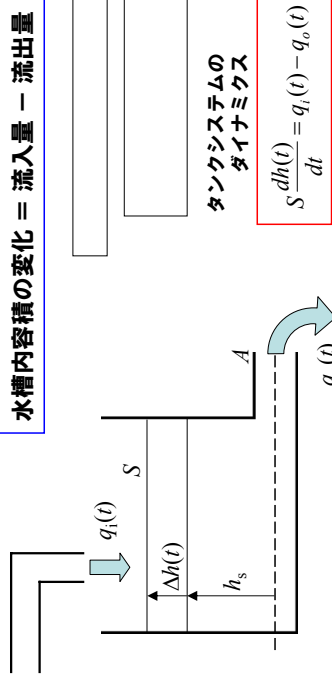
- $q_1(t)$ : 単位時間あたりの流入量 (m<sup>3</sup>/s)
- $q_0(t)$ : 単位時間あたりの流出量 (m<sup>3</sup>/s)
- $h(t)$ : 水位 (m)
- $S$ : 水槽の断面積 (m<sup>2</sup>)
- $A$ : 出口配管径の断面積 (m<sup>2</sup>)



入力:  $q_1(t)$   
出力:  $h(t)$

微小時間  $\Delta t$  に対する  
水位の変化分  $\Delta h(t)$  を考えると、

水槽内容積の変化 = 流入量 - 流出量



タンクシステムの  
ダイナミクス

$$S \frac{dh(t)}{dt} = q_1(t) - q_0(t)$$

$$\therefore \lim_{\Delta t \rightarrow 0} \frac{\Delta h(t)}{\Delta t} = \frac{dh(t)}{dt}$$

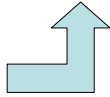
## 流出量

$$q_o(t) = Av_o(t)$$

$$v_o(t) = \sqrt{2gh(t)}$$

(ベルヌーイの定理から)

$$q_o(t) = A\sqrt{2gh(t)} \quad (\text{m}^3/\text{s})$$



タンクシステムのダイナミクス

$$S \frac{dh(t)}{dt} = q_i(t) - q_o(t)$$
$$= q_i(t) - A\sqrt{2gh(t)}$$

非線形システム

$q_o(t)$ : 単位時間あたりの流出量 (m<sup>3</sup>/s)

$v_o(t)$ : 流出速度 (m/s)

$A$ : 出口配管径の断面積 (m<sup>2</sup>)

非線形システム 難しい



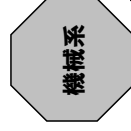
線形化 (近似)

線形システム 易しい

古典制御理論  
現代制御理論

## 本日の授業内容

1. 熱系のモデリング
2. 流体系のモデリング
3. アナロジー



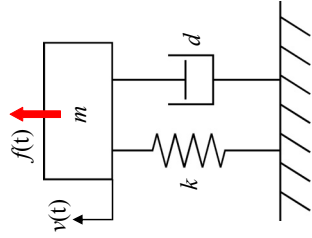
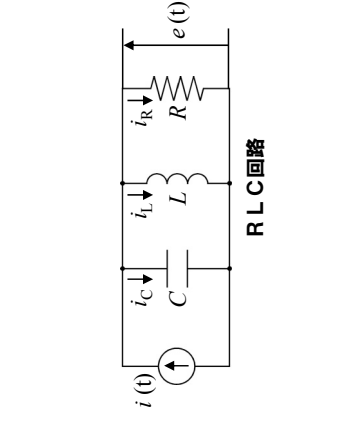
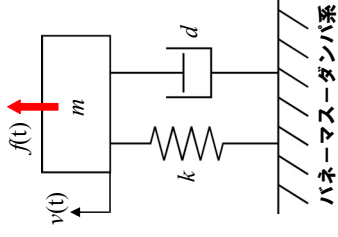
数学モデル  
(微分方程式)

解析・設計

## アナロジ（類推）って何？

類似点に基づき他の事をおしはかること。  
 二つの特殊事例が本質的な点において一致することから、他の属性に関しても類似が存在すると推論すること。  
 似たところをもととして他の事も同じだろうと考えること。

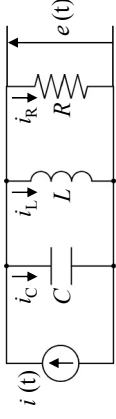
広辞苑 第五版、岩波書店



$$m \frac{d^2 x(t)}{dt^2} + d \frac{dx(t)}{dt} + kx(t) = f(t)$$

$$v(t) = \frac{dx(t)}{dt}$$

$$m \frac{dv(t)}{dt} + dv(t) + k \int v(t) dt = f(t)$$



コンデンサ：  $e(t) = \frac{1}{C} \int i_C(t) dt$   $\rightarrow$   $i_C(t) = C \frac{de(t)}{dt}$

コイル：  $e(t) = L \frac{di_L(t)}{dt}$   $\rightarrow$   $i_L(t) = \frac{1}{L} \int e(t) dt$

抵抗：  $e(t) = R i_R(t)$   $\rightarrow$   $i_R(t) = \frac{1}{R} e(t)$

キルヒホッフの電流の法則：  $i(t) = i_C(t) + i_L(t) + i_R(t)$

$$C \frac{de(t)}{dt} + \frac{1}{R} e(t) + \frac{1}{L} \int e(t) dt = i(t)$$

$$m \frac{dv(t)}{dt} + dv(t) + k \int v(t) dt = f(t)$$

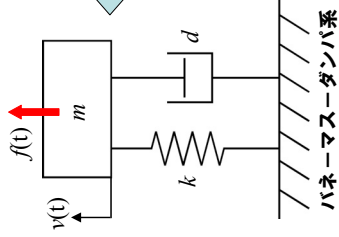
モビリティ類推  
(カ-電流相似)

力:  $f(t)$  ↔ 電流:  $i(t)$

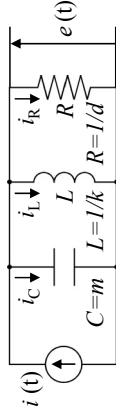
速度:  $v(t)$  ↔ 電圧:  $e(t)$

$$C = m, \quad R = \frac{1}{d}, \quad L = \frac{1}{k}$$

$$C \frac{de(t)}{dt} + \frac{1}{R} e(t) + \frac{1}{L} \int e(t) dt = i(t)$$

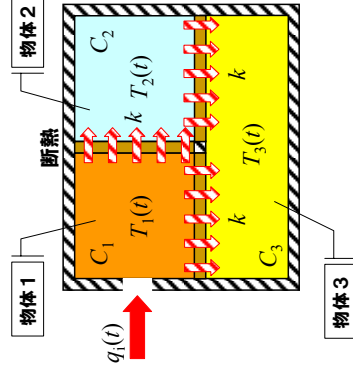
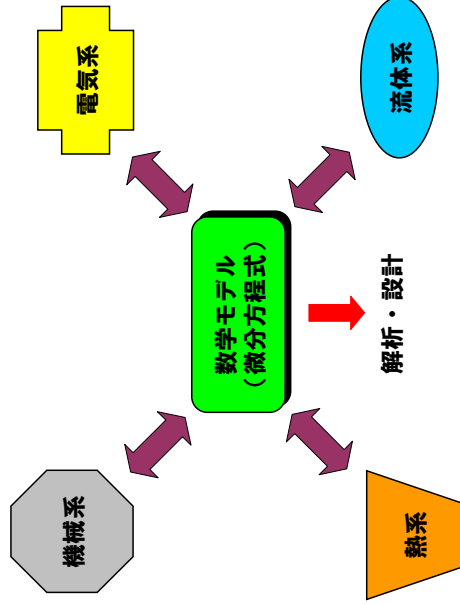


等価



RLC回路

ハネ-マス-ダンパ系



$C_i$ : 物体iの熱容量

$T_i$ : 物体iの温度

$k$ : 物体間の物質の熱伝導率

$q_i$ : 物体1に加わる熱量

$q_i$ : 物体1に加わる熱量

熱量